

第 5 次裾野市総合計画後期基本計画策定に向けた アンケート調査結果（速報版）

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和 7 年度に策定する裾野市のまちづくりの指針である「第 5 次裾野市総合計画後期基本計画」の基礎資料とし、市民からのご意見をこれからのまちづくりの参考とする。

2. 調査方法

調査対象： 裾野市内に住んでいる満 18 歳以上の方から無作為に抽出した 1,200 人

調査方法： 対象者に郵送で調査票を送付し、記入した調査票の郵送またはインターネットによる回答

実施期間： 令和 7 年 1 月 20 日（月）から令和 7 年 2 月 12 日（水）まで

3. 回収結果

発送数	有効回収数	有効回収率
1,200 票	563 票（郵送回収・388 票＋WEB 回収・175 票）	46.9%

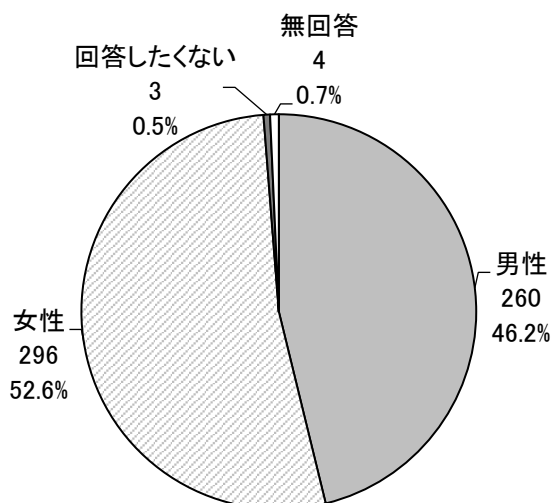
※有効回収数：集計に利用した票数

II 調査結果

1. 回答者の属性

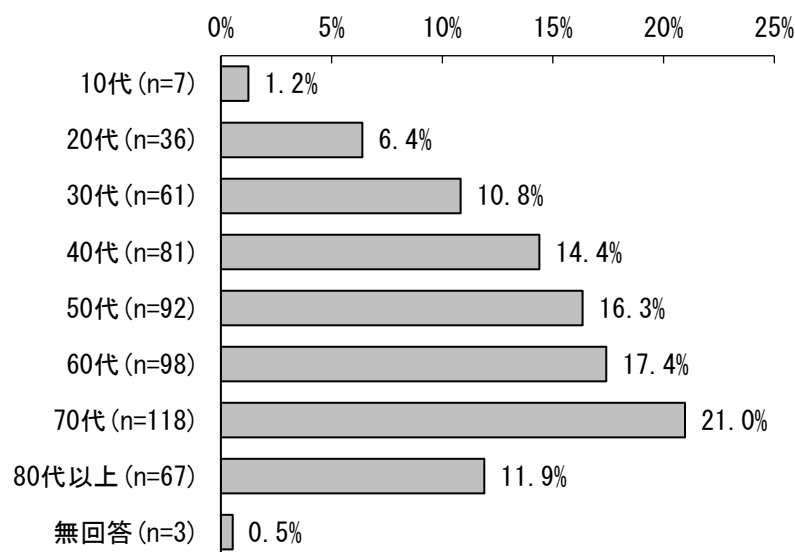
問 1 性別

n=563



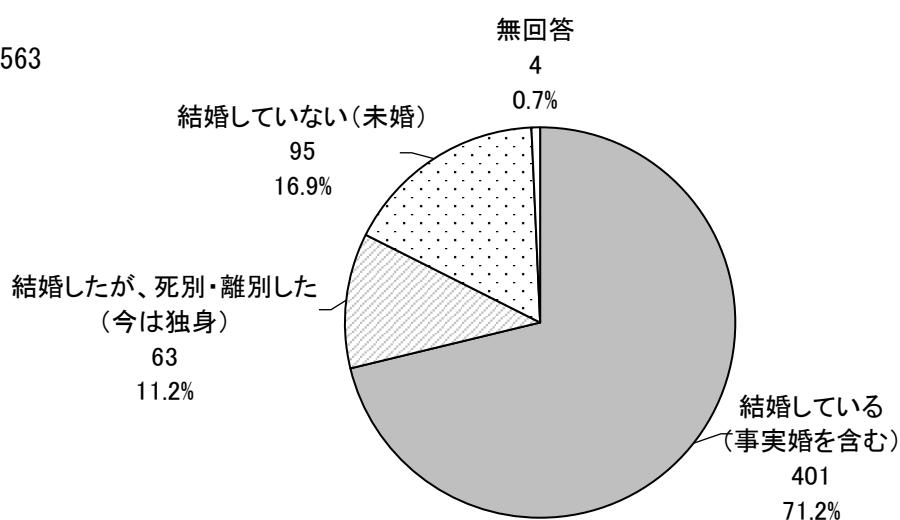
問2 年齢

n=563



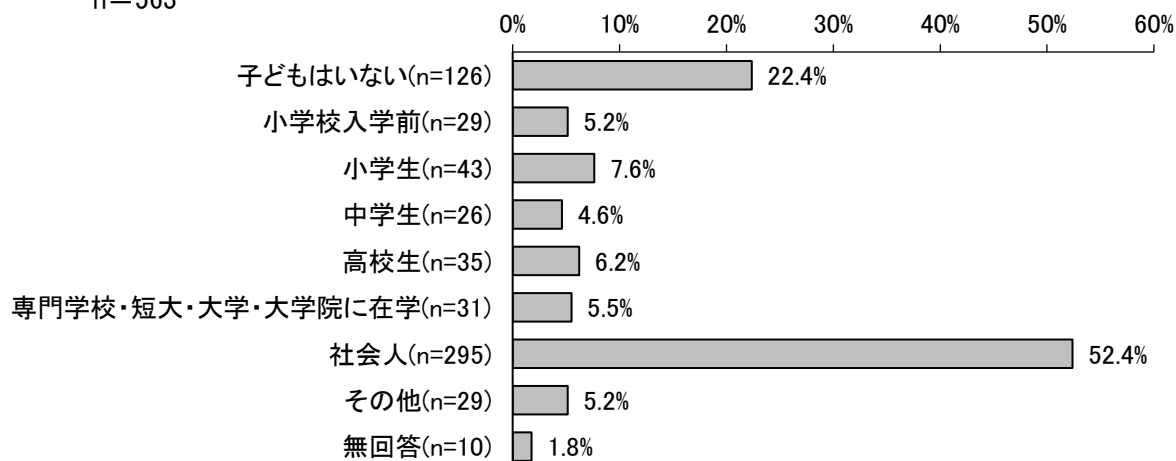
問3 結婚の有無

n=563



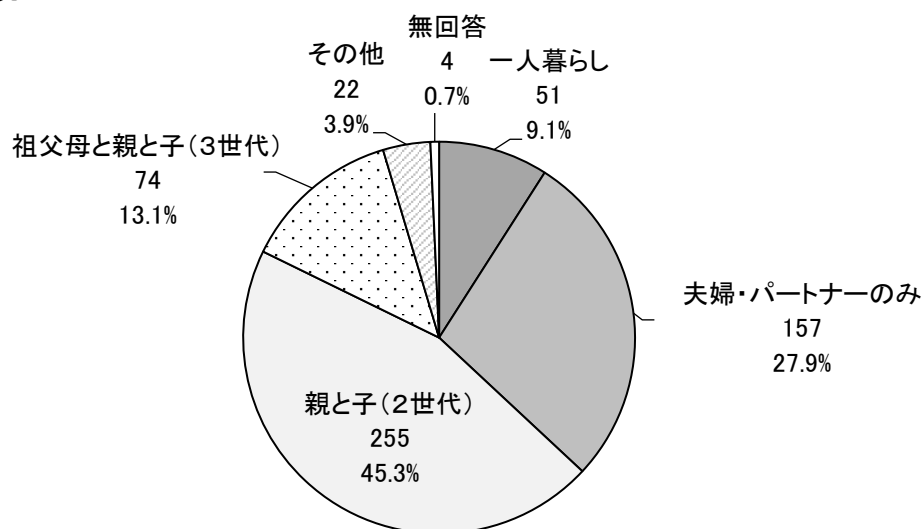
問4 子どもの段階 (同居・別居問わず、子ども全員について回答)

n=563



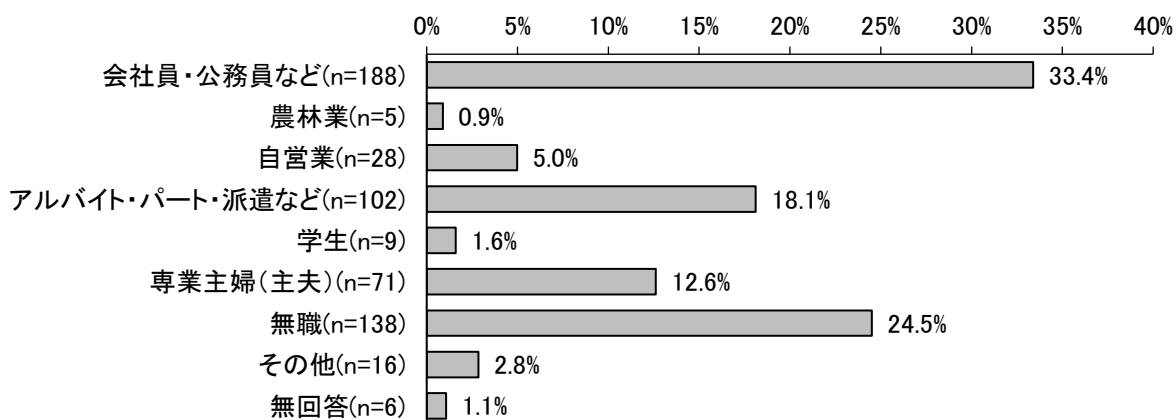
問5 世帯状況

n=563



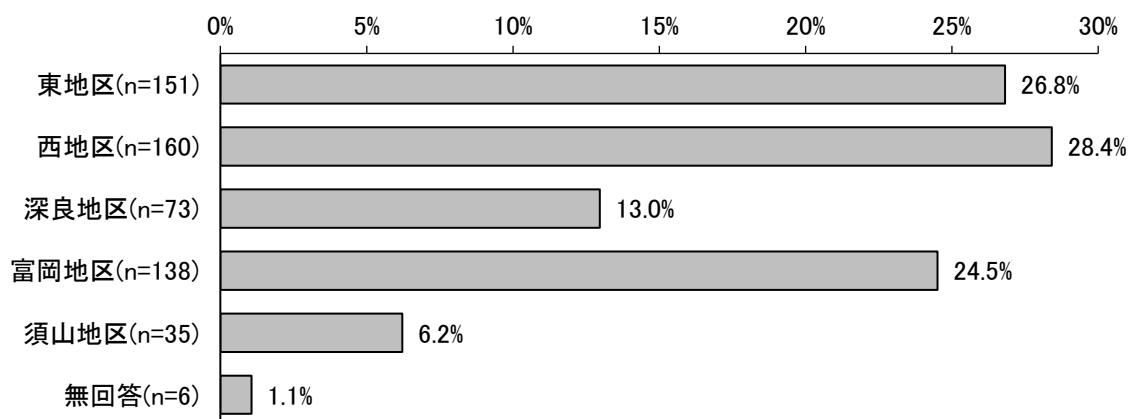
問6 職業

n=563



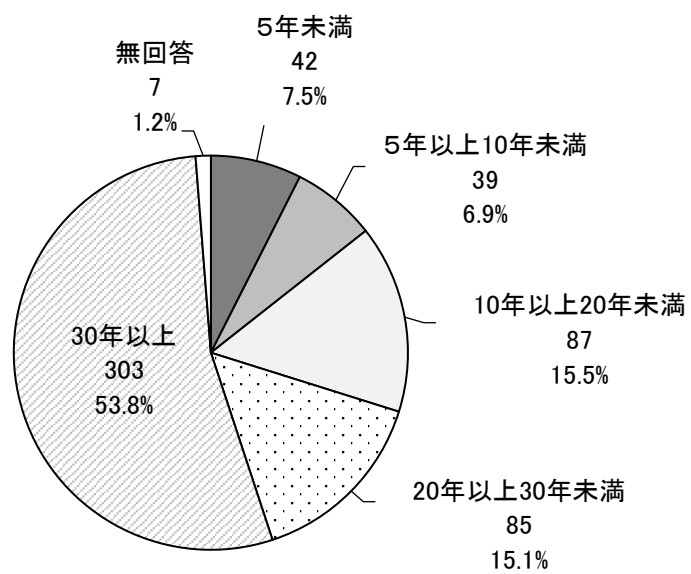
問7 居住地区

n=563



問 8 居住年数

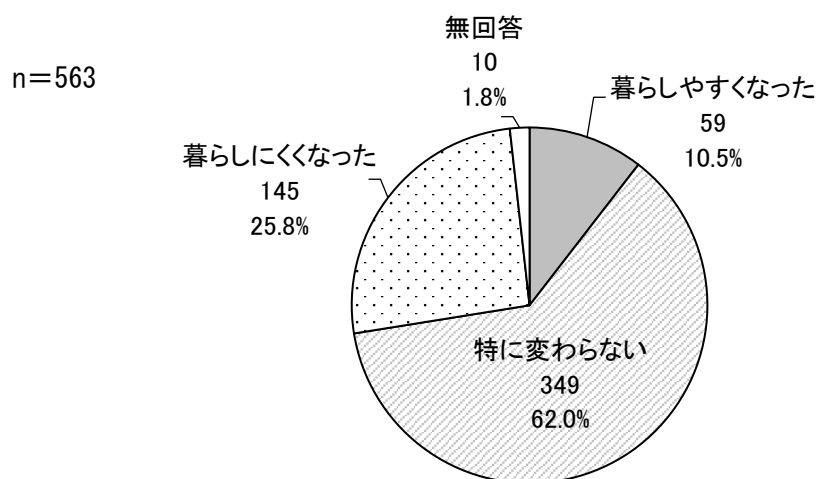
n=563



2. 裾野市での暮らしについて

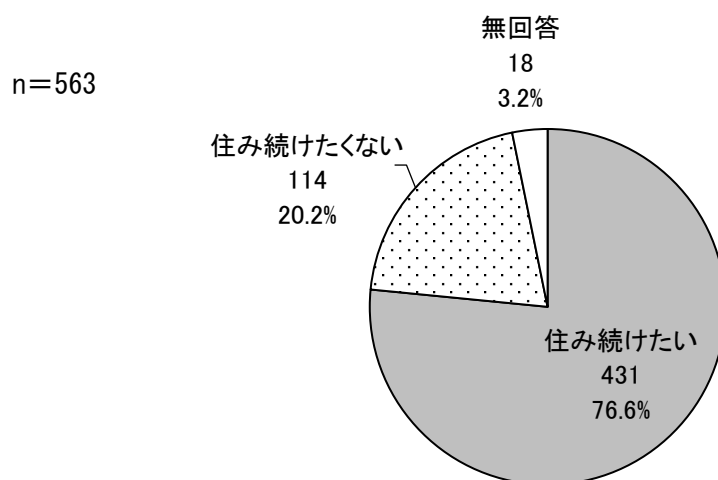
問9 5年前（居住年数が5年未満の場合は居住開始時）と比べて、裾野市は暮らしやすくなったと思いますか。

○「特に変わらない」が多く 62.0%であるが、「暮らしにくくなった」(25.8%) とする方が、「暮らしやすくなった」(10.5%) とする方よりも多い。



問10 今後も裾野市に住み続けたいと思いますか。

○「住み続けたい」は 76.6% 「住み続けたくない」は 20.2% となっている。



3. 裾野市が行っている取組について

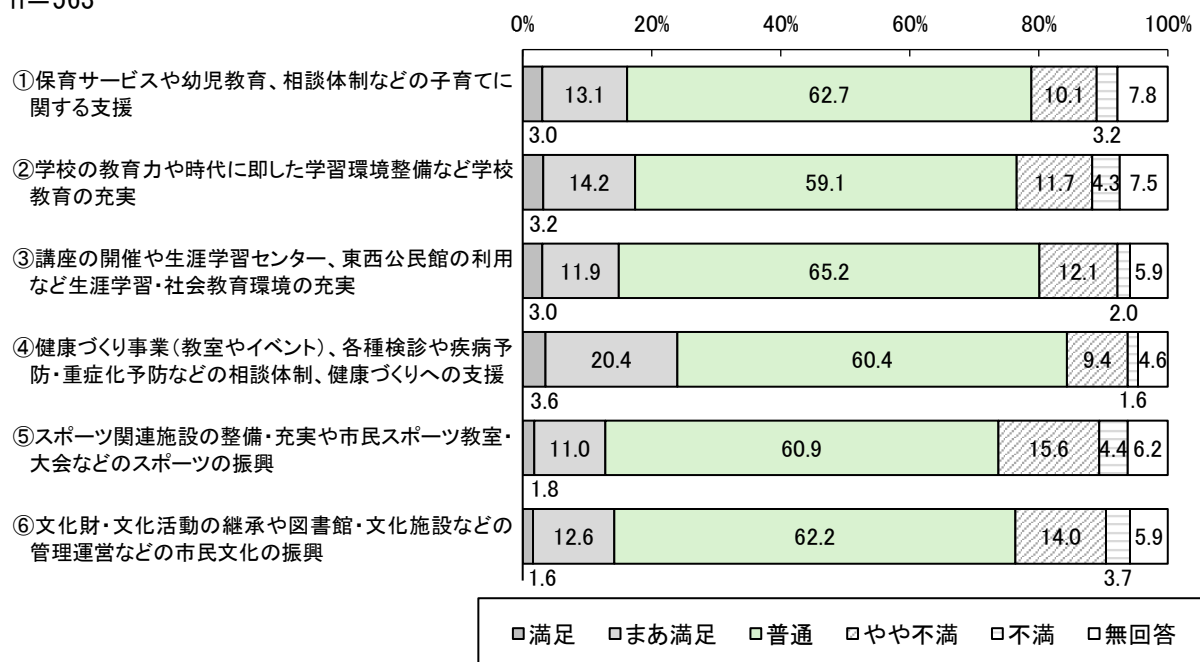
問 12 裾野市が行っている取組についてどのように感じていますか。下の表の①～⑥の各項目について、あなたの生活における「満足度」「重要度」それぞれについて、お答えください。（○は項目ごと1つ）

○「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足している”の割合が高いのは、「⑫ゴミの分別回収・減量やリサイクルの推進などの環境対策」の40.5%、「⑫上水道施設の更新や保全などの良質な水道水の安定供給」の31.1%、「④健康づくり事業（教室やイベント）、各種検診や疾病予防・重症化予防などの相談体制、健康づくりへの支援」の24.0%である。

【満足度のまとめ】

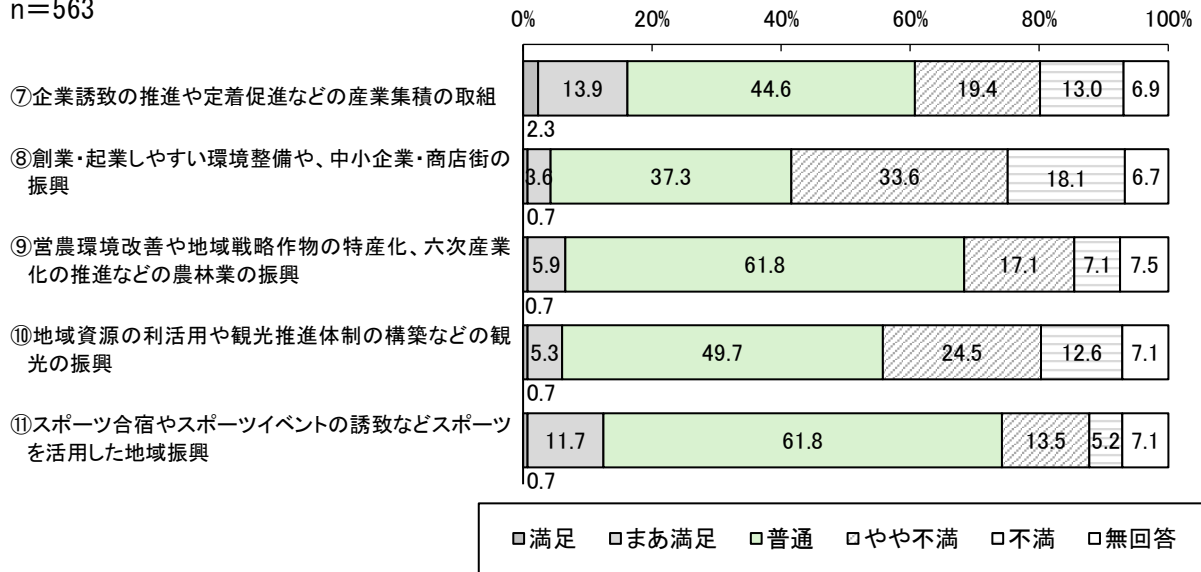
<大綱1 子育て・教育・健康・文化>

n=563



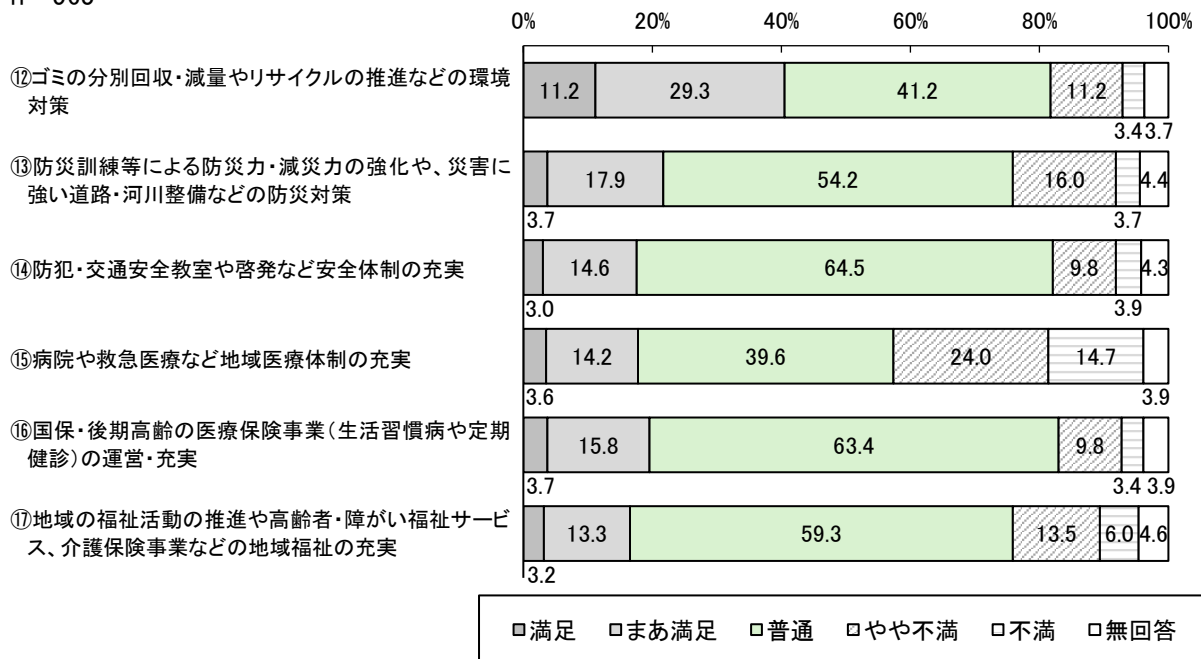
<大綱2 産業・観光>

n=563



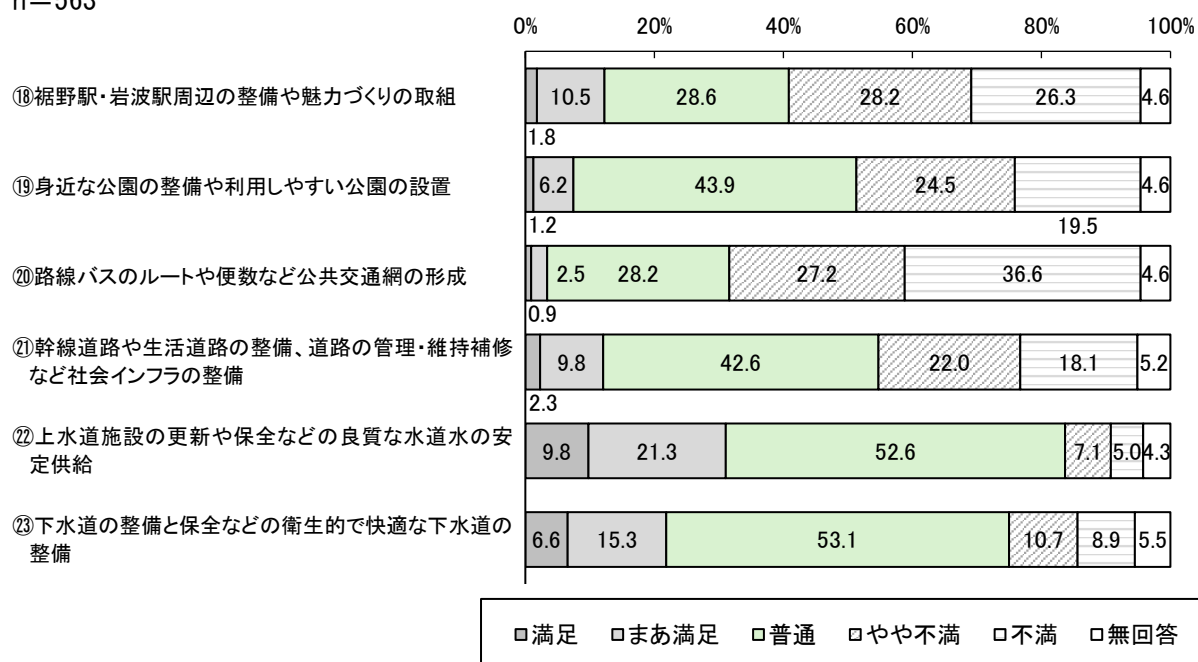
<大綱3 環境・防災・医療・地域福祉>

n=563



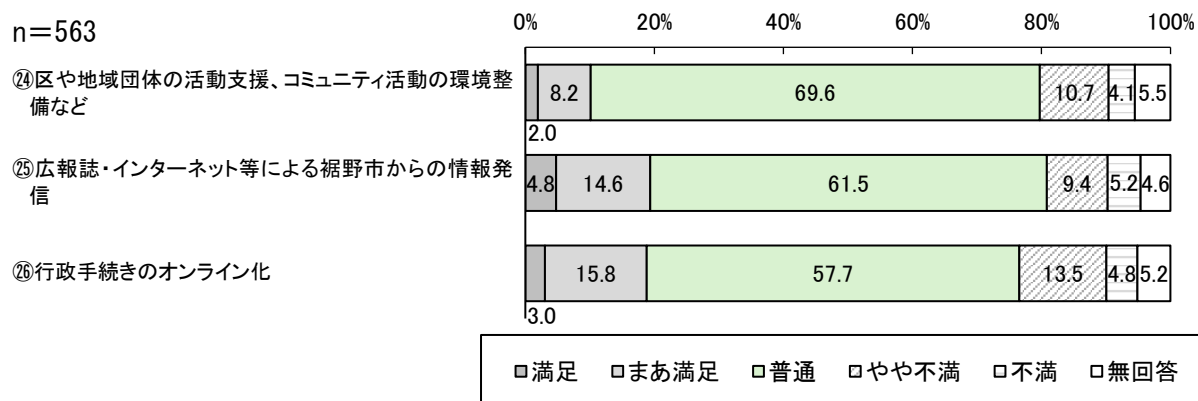
<大綱4 都市・交通・社会基盤>

n=563



<大綱5 市民自治・都市経営>

n=563

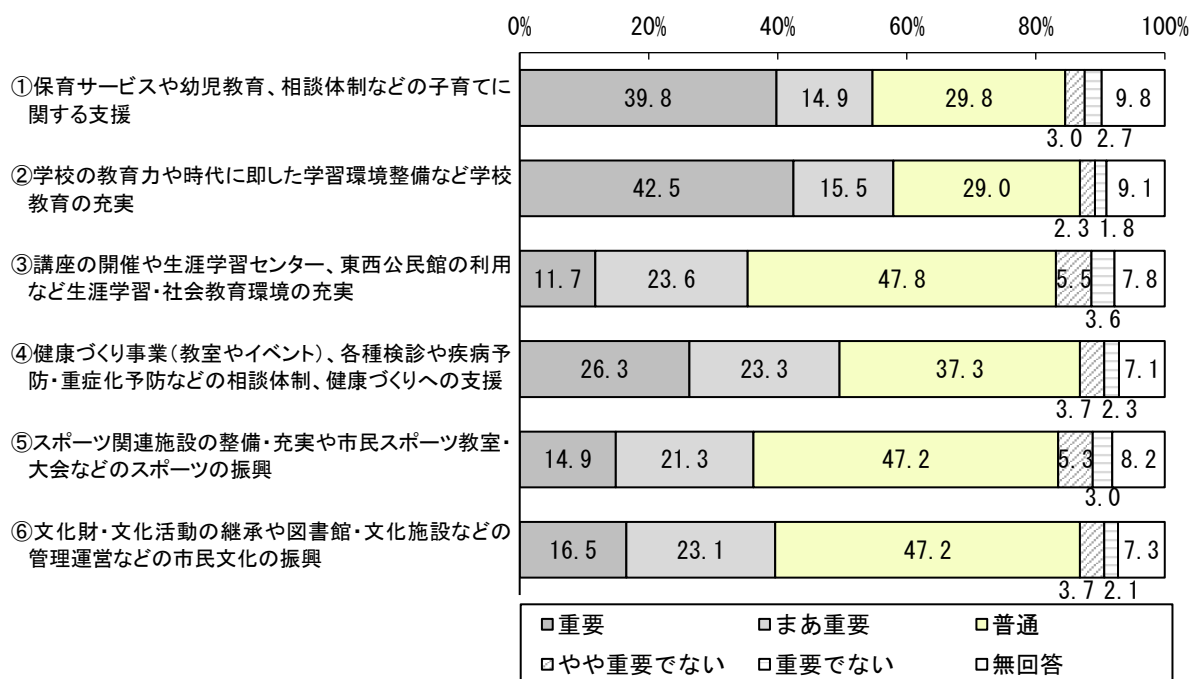


【重要度のまとめ】

○「重要」と「まあ重要」をあわせた“重要である”の割合が高いのは、「⑮病院や救急医療など地域医療体制の充実」の77.9%、「⑫幹線道路や生活道路の整備、道路の管理・維持補修など社会インフラの整備」の72.5%、「⑬防災訓練等による防災力・減災力の強化や、災害に強い道路・河川整備などの防災対策」の71.4%である。

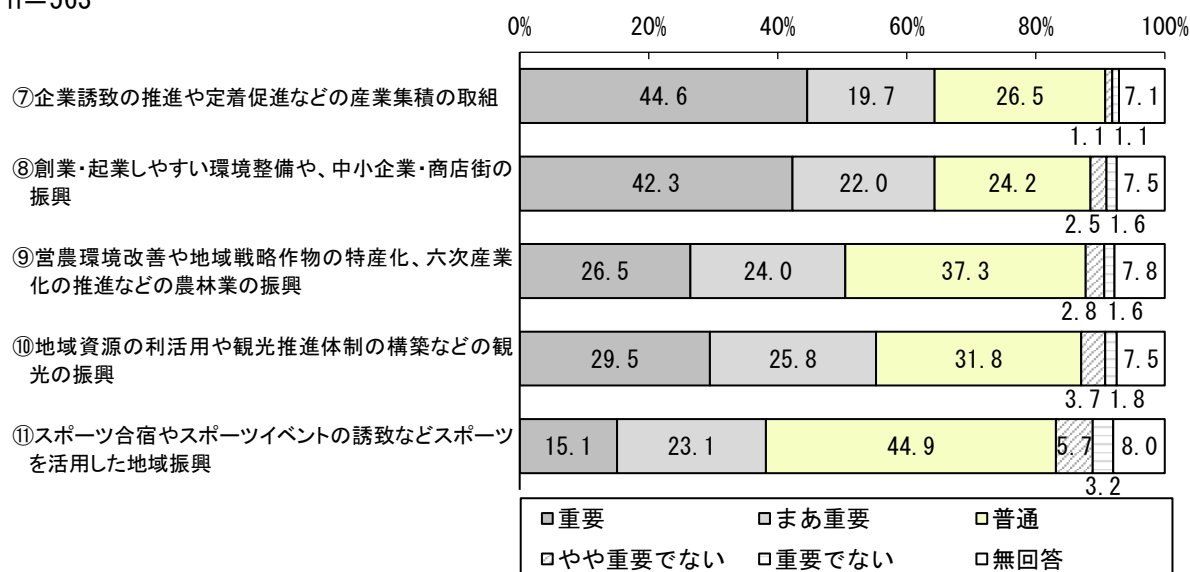
<大綱1 子育て・教育・健康・文化>

n=563



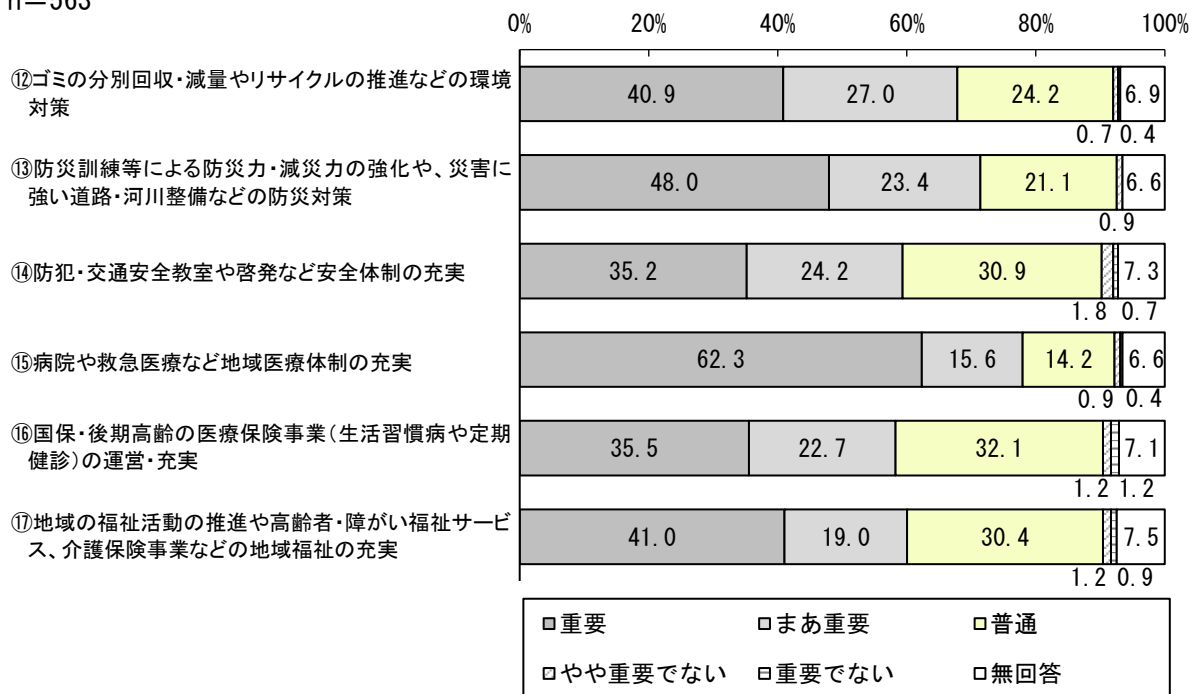
<大綱2 産業・観光>

n=563



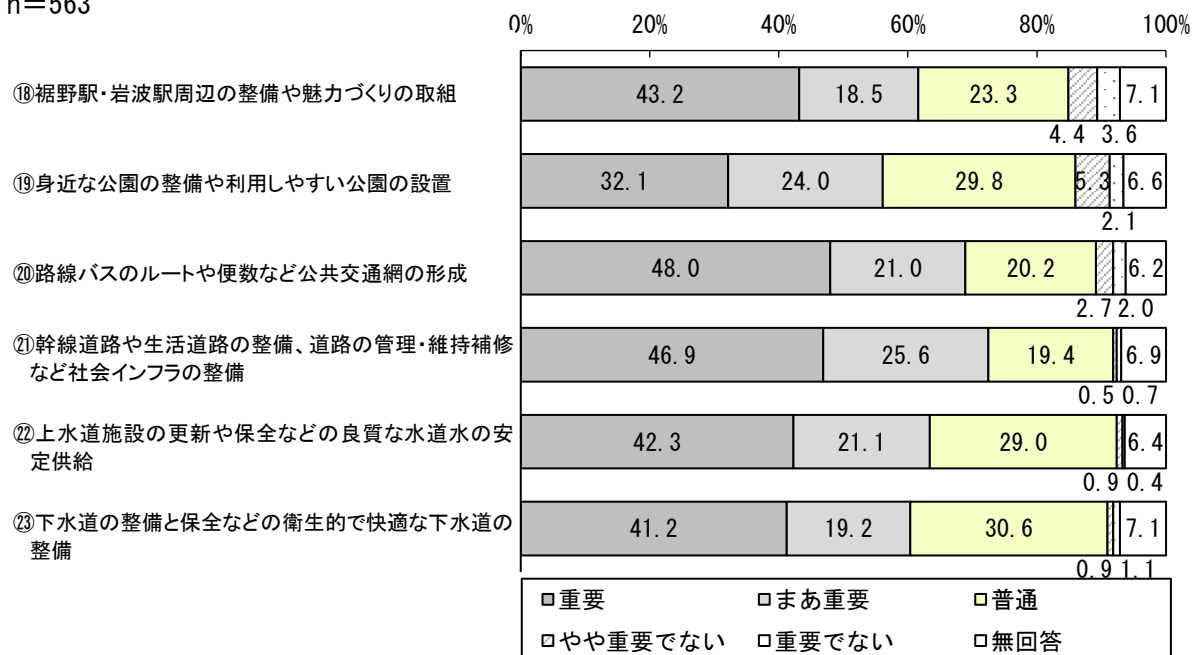
<大綱3 環境・防災・医療・地域福祉>

n=563



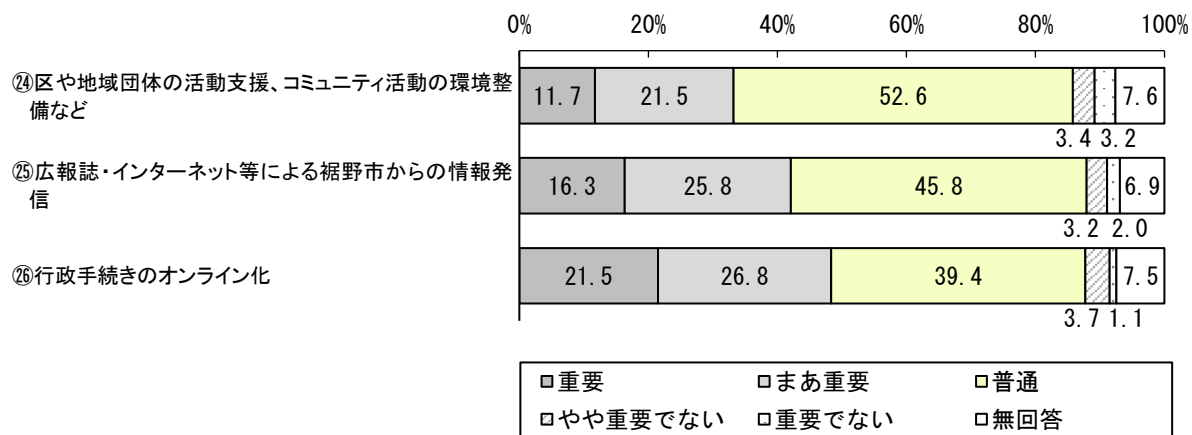
<大綱4 都市・交通・社会基盤>

n=563



<大綱5 市民自治・都市経営>

n=563



【行政が力を入れるべきだと思う取組】（3つまで選択）

